



5年生社会科「国土の気候の特色」(全3時間)

① 単元準備

項目	実践内容	資料
単元目標	「日本の気候には、どのような特色が見られるでしょうか？」をまとめ、説明する。」	目標掲示の写真
学習の手引き・ルーブリック作成	PadletのTAを活用して「学習の見通し表」「ルーブリック(短くまとめて表現・自分の言葉で説明)」を作成	Padlet TA chatGPT
参考資料	情報収集のモデル例、教科書の線引き例、ノートまとめ例	モデルノート写真
めあて・ふりかえり表	Googleスプレッドシートで準備し、毎時更新	スプレッドシート(布施小モデル)
ロイロノート	単元共有ノートを作成、全員に配布	ロイロノート
Google Classroom	授業課題・めあて・ふりかえり表を投稿	Classroom投稿

▶ 問い: 情報活用能力の視点から、あなたの単元準備はどう変わりますか？

② 授業の流れと問い

① 社会の勉強は何のために？

「幸せな世界をつくる力」をつけるため

→「知る」「できる」だけではダメ！行動があってこそその力。例)ゴミの学習→ゴミをポイ捨てしない、日常で分別ができるができないと、意味がない

▶ 問い: 「学びの意味づけ」はどのように伝えていますか？

② 年間／単元の見通し

年間予定表と教科書で内容を見通し

「何ができたならOKか？」考えて、全体で共有

国土の気候の特色 学習ルーブリック

評価基準	3 S(すばらしい)	2 A(できている)	1 B(もうすこし)
[知識・技能] キーワードの活用	「四季の変化」「気候」「つゆと台風、季節風」「降水量」「地域によって異なる気候」のキーワードをすべて使い、自分の分かる言葉で、ノートやスライドでまとめている。	「四季の変化」「気候」「つゆと台風、季節風」「降水量」「地域によって異なる気候」のキーワードを使い、ノートやスライドでまとめている。	キーワードを十分にまとめられていない。
[思考・判断・表現] 日本の気候の特色についての説明・表現	日本の気候の特色(四季の変化、地域による違い、降水量など)について、理由や具体例をあげて、わかりやすく説明できる。	日本の気候の特色(四季の変化、地域による違い、降水量など)について、説明できる。	日本の気候の特色(四季の変化、地域による違い、降水量など)について、うまく説明できないところがある。
[学びに向かう力] ねばり強さ・調整力・協力	授業に積極的に参加し、友だちの意見をよく聞き、自分の考えを深めている。見通しを持って学習計画を立て、解決している。みんなが気持ちよく学習できるように気を配り、協力して課題に取り組んでいる。	授業にまじめに参加し、友だちの意見を聞きながら、自分の考えをまとめている。決められた学習の課題に取り組んでいる。	授業への参加が消極的だったり、友だちの意見を聞こうとしていなかったりする。学習中、うまく協力できていないところがある。

▶ 問い:見通しをもたせる工夫は？

③ 学習の手引き

クラスルームとロイロで学習の手引きの提示(研修で泰山先生から学んだスタイル) 個々(グループもOK)で学習を進める→「だれと学ぶ？」の提示

子どもたちのざっくりの見通し

- 1時間目:情報収集
- 2時間目:整理・分析
- 3時間目:まとめ・表現

学習の手引き 国土と気候の特色 (3時間)

★パフォーマンス課題
「日本の気候には、どのような特色が見られるでしょうか？」をまとめ、説明する。

★学習ルーブリック

★学習の流れ

- ①課題設定(学習計画・見通し)
 - ・スライド?ノート?→1人?友だちと?→計画(どの内容の順番?)→時間予定
- ②情報収集(調べる)
 - ・教科書や資料集からキーワードや必要な情報を集める。
 - ・教科書に書きこむ、ノートにメモする、スライドに書き出す、写真を撮る、トレバで写すのもGOOD
- ③整理・分析
 - ・情報をまとめたり、種類・キーワードごとに分けたりする。
 - ・集めた情報を自分の分かる言葉にする。
- ④まとめ・表現(まとめ・説明)
 - ・ノートやカードにまとめる
 - ・ノートやスライドを見て、音声で説明する
- ⑤ふりかえり・改善
 - ・自分の学びをふりかえり、できること、生かせることを書く

意見・広げる
考えがちがう人

助け教えたい
不安・苦手な人

向き合う
自分 **だれと学ぶ?** 仲のよい人

確認・分担したい
考えが同じ人

教えてほしい
得意な人

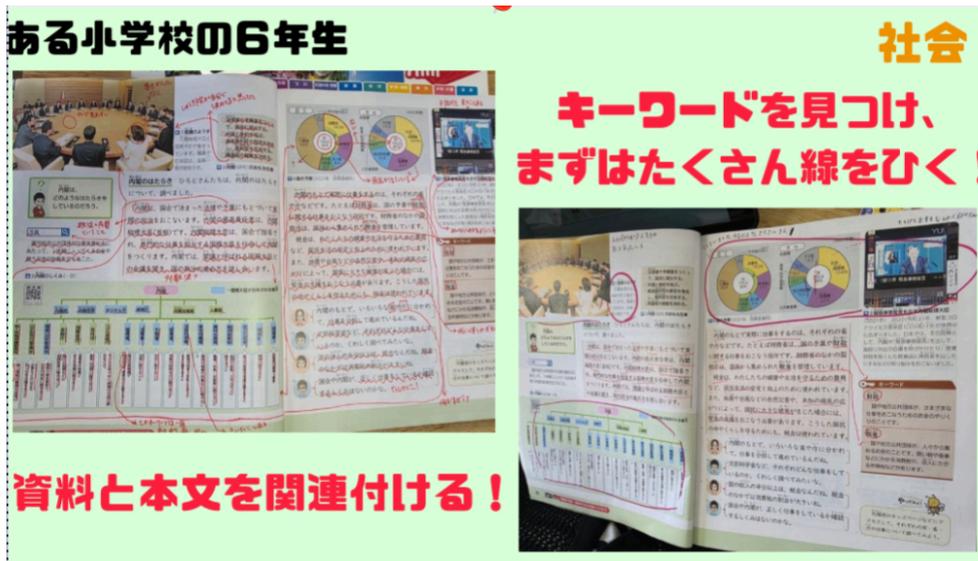
▶ 問い:学習計画づくりの際、どこに主体性が見られましたか？

④ 情報収集

教科書を中心に

- 見出し
- 写真
- 本文
- グラフ

に線引きやメモを行う
※ モデル資料も掲示



▶ 問い: 情報収集でどんな気づきや疑問が生まれていましたか?

⑤ 整理・分析

- ロイロカード
- 思考ツール
- 箇条書き

を使って分析

言葉の意味を確認(右の掲示)しながら、他者の考えを参考にする活動も重視

情報活用の 言葉	
言葉	意味
情報収集	知りたいことをたくさん調べる (見る・聞く・本や教科書で)
整理	調べたことを分かりやすく並べる (思考ツール・表など)
分析	並べたことをよく見て考える
まとめ	大事なことをぎゅっとまとめる
表現	まとめたことを分かりやすく伝える (スライド・説明など)

キーワードミッション

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

▶ 問い: 分析の深まりをどう見取りますか?

⑥ まとめ・表現

- ノートまとめ(短く・要点)
- ロイロ音声で説明(自分の言葉で)

キーワードミッション：四季の変化・気候・つゆと台風、季節風・降水量・地域によって異なる気候について、自分の言葉でまとめよう。

() = 自分の考え

- 春は桜が咲く (冬より暖くなるから?)
- 夏は太陽の光が降り注ぐ (太陽が日本の近くになるから?)
- 秋は木々が紅葉する (夏よりも涼くなって葉っぱが乾燥するから?)
- 冬は雪景色が見れる (冬は寒くなってきて雪が降るから)
- 夏から秋にかけては台風が来る (季節の変わり目だから?)
- 四季の変化が見られるのは日本の気候の大きな特色 (他の国では一年中季節が変わらない国もあるから)
- 桜の咲き始める時期は場所によって違う (気候や標高が違うから)
- 特に台風の被害が多いのは沖縄、九州、四国 (この3つの地方は全部海に囲まれているからそれが関係あるのかも?)
- 夏には太平洋側に多くの雨がふり、冬には日本海側に雨や雪をもたらす (方角と雨や雪は関係ある?)
- 季節風とは「季節によってふく方向が変わる風のことを季節風とよんでいます。」
- 日本は南北に細長いから、北と南で気候は大きく変わる



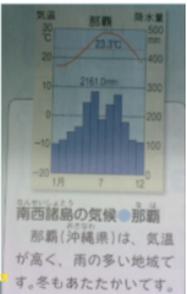

キーワードミッション：四季の変化・気候・つゆと台風、季節風・降水量・地域によって異なる気候について、自分の言葉でまとめよう。

気候

- **北海道帯広の気候**
北海道は冬が寒いから降水量が少ないです。
- **日本海側の気候**
日本海側の夏の気候は太平洋側と同じくらい。でも冬は雪が降ります。
- **中央高地の気候**
中央高地は、夏と冬の温度差が大きいです。だから降水量が少ない。
- **南西諸島那覇の気候**
沖縄県は気温の高い雨がよく降る県です。冬も温かいです。
- **瀬戸内高松の気候**
気候は太平洋側に似ていますが降水量は少ないです。
- **太平洋側静岡の気候**
気温の高い暖かい地域です。夏と秋にはよく雨が振ります。







キーワードミッション：四季の変化・気候・つゆと台風、季節風・降水量・地域によって異なる気候について、自分の言葉でまとめよう。

- 沖縄県糸島市では、夏に梅雨をきかして秋雨
- 大阪府大阪市では、春に桜が咲いている。
- 北海道知床半島では、冬流水がでてきている
- 山形県蔵王では冬にスキーが出来る。
- 桜が咲き始める時期は、場所によって違う。
- 沖縄と北海道では遠かさが大きく異なる差が大きい。
- 梅雨や台風の影響も地域ごとによって違う。
- 春・夏・秋・冬と四季があることで春～冬までの春は春にしかできない物質には夏にしかできないもの秋には秋にしかできないもの冬には冬にしかできないものができる。
- 沖縄や九州、四国地方は台風の被害が大きく更には多い地域です。
- 季節風、季節によって風向が変わる風のことを季節風とよんでいます。
- 日本の上空では、夏には南東（太平洋）から、冬には北西（ユーラシア大陸）から季節風がふいています。

まとめ

桜が咲き始める時期は違う

梅雨を始めるその都市の気温によって変わる

北海道では流水ができていて更にスキーもできる

日本の上空では、夏には南東（太平洋）から、冬には北西（ユーラシア大陸）から季節風が吹いています。

キーワードミッション：四季の変化・気候・つゆと台風、季節風・降水量・地域によって異なる気候について、自分の言葉でまとめよう。

雨のこと

- 1 太平洋側は夏か秋時期に雨がすくふります。気温が高いとあめがふりやすくなります。
- 2 西側の日本海側は冬になると雪が沢山ふります。それは気温が低いからです。
- 3 でのかい溝にあまり面していないところは雨がふりにくいです。

考え

- 1 太平洋側は、アメリカなどの温かい国とも接しているし太平洋は世界一でかい海なので、すくく雨雲もできやすいので雨がふりやすいとおもいます。
- 2 日本海側は逆に冷たい空気がよってきて雪がいっぱいふるとおもいます。
- 3 水を得るところが少ないから雨が降りにくいと思います。

まとめ
つまり日本海側は乾いていて、東側の太平洋側は湿っています。

四季について

暑かすぎて蒸し暑い、お花や動物が活発に動き回ります。
寒かすぎて凍って、熊くねが活発に動き回ります。
秋風が吹いて涼しくなると、熊くねが冬眠をします。
雪がこもると寒いですがこの時期は雪遊びやスキーなどの楽しみもたくさんあります。雪を遊ばない人もたくさんいます。

四季の気候

日本の気候は太平洋側の気候がよっています。それで違う気候がよっています。
日本の気候は日本海側の気候がよっています。それで違う気候がよっています。

考え

- 1 それで違う気候がよって自分と違うのか
- 2 気候をよって自分と違うのか

まとめ
暑くない気候ですけれどもおんなじの気候がよって自分と違う気候がある人になりまします。

▶ 問い:「自分の言葉で説明する」力はどう変化しましたか？

⑦ めあて・ふりかえり

- 1時間目は選択式
- 2時間目以降は自己設定
- ふりかえりの質・量が向上

★5年2組のめあて・ふりかえり表

2	とにかくいっぱい書きたい	えらんでね。	えらんでね。	うまくいったことは、いっぱい書けたことで、成功したことはめあてで書いていた いっぱい書きたいということできいっぱい書けたことが成功したことです。そして良 かったことは自分の書きたい事をいっぱい書いてということでもすかしかった ことはあまりなかったけどもう少し書きたかったことでした。次にしたいことは もっともっとかくということでもす改善点はもっと分けて書いて難しいことも簡単に できるようになることです	197	SS	
3	前は、とりあえず情報を集めていたから 今日はその情報を整理する	ともだちと	えらんでね。	今日は前の授業でやった教科書に線を引いたり丸をしたところを中心に整理をし ました。先生が最初に紹介していた、「箇条書き」で整理してみると、とてもやり やすかったです。先生は、自分の考えも書いてねと言っていたので、隣に () ←これ で自分の考えを書きました。みんなみたいにキレイな整理の仕方はできていないかもし れないけれど自分からしたらよかったです。	174	SSS+	

▶ 問い:「ふりかえり」によって、子どもの学び方はどう変わっていききましたか？

③ 意識したこと・工夫点

- 授業冒頭5～10分で「学び方」「内容面」の価値づけ・補足説明→できるだけ子どもが考えて学べる時間を確保したこと
- めあて・ふりかえりをルーティン化→学びをつなげること
- 他者参照をうながし、困り感のある子のモデルやサポートをする

- 個別と協働のバランスを説き、**自己決定**できるようにすること
- 学習の型はあくまで参考、子どもの動きから価値づけ
- これまでの教え方を授業者が見直し、何を教えたかでなく、**何を学んだかで観ること**
→個別化が、よりできるようになった、3観点の中の学びに向かう力を意識できた

▶ 問い:自分の授業スタイルを見直すとしたら、どこから取り組みそうですか？

④ 振り返りと考察

- 子どもが何を学んだかを意識することで、
→より個別化ができるようになった。3観点の中の学びに向かう力を意識できた。
- 情報活用能力の育成を意識したことで、
→ 課題意識をもって取り組み、自らの学びを振り返る力
→ まとめ・説明の力
→ 他者との学び合いの姿勢
に変容が見られた
- 次は「自分の課題に対してどう見通しを立てるか」「整理・分析の取り組み方」ステップに挑戦したい

▶ 問い:次の単元で意識してみたいことは何ですか？